

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4~7月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	職員一人ひとりが個人情報の重要性を認識し、個人情報の取扱いについては、財団個人情報保護規程を遵守し保護に努めている。	B		無				
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	A	防災センターの直営化により、センター職員の専門知識を活かすことで緊急時の対応をよりきめ細かいものとしている。天候不順により落雷の危険性がある場合、事前に主催者に情報提供をするなど館の安全安心・危機管理を意識した対応を行った。引き続き地震の心配はあるものの、緊急時でも遅やかな行動が出来るようより更にコミュニケーションの充実を努めている。更に、施設を安全安心に利用いただく管理の観点から職員1名が「甲種防火・防災管理講習」の研修を受講し修了した。	B	防災センター直営化による緊急時対応についての具体策について、更に充実することを期待する。	無				
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	施設の予約にあたっては公開抽選会を実施し、公平性を保持している。なお、抽選会への出席者が増えてきたことから、待ち時間の縮減をはかるため、7月よりホールと諸室の抽選を分けることにより、抽選時間を短くスピーディーに行なえるようにしたことと出席者には好評であった。	B	待ち時間短縮の取組みは評価できる。引き続き公平な施設予約業務を実施すること。	無				
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	A	第三者委託による業務の水準については適正であると判断をしている。なお、平成23年度からは、防災センター業務を直営とし、専門知識を持つ職員を直接採用した。このことで、施設の維持管理を防災センターが専門的観点からより主体的に関わり、管理上の注意事項について、小さな兆候を事前に察知できるようになった。今後も効果的な施設管理への取組みを充実していく。	B	防災センターの強みを活かし、連携を更に充実させ、より効率的効果的な維持管理に努めることを期待する。	無				
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	A	「環境マネジメントシステムハンドブック」に基づき、ゴミの分別や環境への配慮について職員に意識を以て行動するように指示をしている。特に国の定めた1時間あたりの消費電力対前年度15%削減はもとより、八王子市が独自に取り組んだ全体消費電力対前年度15%削減をも大きく上回る26.08%削減するなど、法令等の指示を遵守し適正な対応が出来た。	A	市環境政策課の職員研修においても当ホールの節電実績が紹介されるなど、先進的な取組みを行っている。	無				
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	コストの削減については、委託では適正な見積り合わせにより安価な契約を結ぶことができた判断している。また、光熱水費においては、昨年度LED電球に交換したことによる使用量の削減のほか、防災センター職員との連携によりこまめに電気の入切りを行ったこと、6月期では対前年度32.4%、7月期で23.6%の削減が図れた。	A	防災センター直営化のメリットが表れている。	無				

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4~7月									
						指定管理者の自己評価			所管課評価			改善プラン		所管課確認	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応	
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか、	月例報告書	A	限られた予算を有効に活用し、各諸室の不良箇所の改修に努めた。特に利用者に直接影響が大きいと思われる部分を優先順位を決め対応を図るようにしている。 また、特にホール利用者の市民団体においては、舞台の使い勝手について舞台に不慣れなお客様が多いことから利用日1か月前の舞台打合せとは別に館の窓口にも問い合わせが多く入ってくる舞台関係の問合せにきめ細かく対応し、窓口の職員も一定の知識を持って対応しているもの、更に知識を高められれば利用者に対してより迅速に接することが出来る。そこで利用者のニーズにより的確に対応が出来るよう、ホールの特性を活かした内容を当館職員が企画のもと、財団として全体のスキルアップを図ることを目的にホール技術の向上及び利用受付時の接客向上の観点から舞台技術研修を企画実施した。参加者17名(南大沢文化会館・学園都市センターも参加)	B	利用者への分かりやすきめ細かい対応が実現できるよう、研修成果を期待する。	無					
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	毎週土曜日に無料で実施をしていたロビーコンサートについては、震災以降休止をしていたところであるが、5月14日より再開、11回実施をした。今後は従前どおり毎週土曜日に毎回開催し、来場者に幅広いジャンルの音楽の提供に努めていくこととする。 また、当館での自主事業は以下のとおりであった。 6月「オペラ 輝姫」映画上映 7月「松竹大歌舞伎(震災の影響により中止)」 なお、震災により中止となった事業の払い戻しについては、購入者の要望に沿った形での払い戻しについて適切に対応した。(既に終了済)	B		無					
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・バブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページを活用したPR活動を図るとともに、震災後暫く休止をしていた「催物案内」を6月から再開した。	B		無					

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

11月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標、指標	確認資料等	8~11月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	朝礼を始めOJTにより、職員一人ひとりが個人情報の重要性を認識し、個人情報の取扱いについては、財団個人情報保護規程を遵守し保護に努めている。	B		無				
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	A	防災センターの直営化により、財団職員としての意識が日々強くなっており、故障箇所を発見し、早い段階での修繕など、きめ細かい対応となった。 また、意識の浸透とともにセンター職員の専門知識を活かすことで緊急時の対応をよりきめ細かいものとしている。 9月に2件、10月には1件の転倒によるケガや気分が悪くなるなどのお客様を病院へ搬送するなど職員の迅速かつ適切な対応を取った。	A	防災センターの直営化による職員の意識改革が進み、維持管理業務がきめ細かいものとなっている。今後の対応にも期待する。	無				
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	施設の予約にあたっては公開抽選会を実施し、公平性を保持している。 なお、震災の影響による諸室夜間区分利用中止の解除を受け、当初予約をいただいたお客様に連絡するなど周知に努めるとともに、更には、夜間利用の公平な利用を担保する必要から10月20日に改めて諸室夜間区分専門の抽選会を実施し、公平性の担保に努めた。	A	節電対応の解除に伴うレギュラーな対応を混乱なく確実に実施した。	無				
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	A	第三者委託による業務の水準については、現場や報告書で作業確認をするなど適正であると判断をしている。今後も効果的な施設管理への取組みを充実している。また、第2駐車場に隣接している建物の取り壊しにともない、駐車場の壁の安全性が懸念されるため、現在相手先の取り壊し業者に安全措置を講じている。	B	第三者委託業務については、今後も積極的に統括的な役割を果たすこと。	無				
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	A	環境マネジメントシステムハンドブックに基づき、ゴミの分別や環境への配慮について職員に意識を以て行動するように指示している。 特に震災以降の節電が引き続き実施されており、全職員一丸となり目標達成に向けた取組みを進めている。 また、お客様についてもゴミ減量等の取り組みについて説明、ゴミの持ち帰りをしていたなど館をあげて取り組んでいる。	B	継続した取組みと、新たな試みを行うことを期待する。	無				
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	コストの削減については、複数社の見積り合わせによる適正な手続きにより安価な契約を結ぶことができたことと判断している。また、光熱水費においては、昨年度10~11月にLED電球に交換したことによる使用量の削減のほか、全市を挙げて取り組む電力量15%削減に積極的に取り組んでいる。 削減実績(前年度同月比) 8月26.08% 9月22.41% 10月23.45% 11月10.25% 11月期については、前年度10月下旬より11月にLED化を進めたことから、削減率が低い値となっているが、LED化による最大削減率12%と試算していることから、これを加算するとLED導入前との比較では22.35%の削減と認識している。	A		無				

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

11月

NO.	期末モニタリング編目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	8~11月								
						指定管理者の自己評価		所管課 評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか、	月例報告書	B	限られた予算を有効に活用し、各諸室の不良箇所の改修に努めた。特に利用者の要望や直接影響が大きいと思われる部分を優先順位を決め対応を図るようにしている。 小ホールの音響調整車の更新を見据え、デモンストレーションを実施した。 研修として新しい機材を体験することを目的とし、各施設首脳担当者が参加した。	B		無				
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	出演者を無料で実施しているロビーコンサートについては、毎週土曜日に欠くことなく17回実施をした。今後も毎週土曜日に毎回開催し、来場者に幅広いジャンルの音楽の提供に努めていくこととする。特に共催・支援事業では、施設利用の向上とともに集客にも寄与した。 また、当館関連事業は以下のとおりであった。 主催事業・・・2件 共催事業・・・8件 支援事業・・・3件 【文化祭】 10月4日から開催された市民文化祭、文化連盟・八王子市・ふれあい財団の3者で実行委員会を組織し運営実施している。 いちぶホールにおいては、全34事業中20事業が実施され、主催者の一員としてスタッフ一同準備等に尽力した。 ポスター・チラシの掲出やホームページや催物案内による催事等情報公開を行った。	B		無				
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・バブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページを活用したPR活動を図っている。さらに見やすいHPを目指し改善を進める。	B		無				

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

3月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標、指標	確認資料等	12~3月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	朝礼を始めOJTにより、職員一人ひとりが個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の取扱いについては、財団個人情報保護規程を遵守し保護に努めている。 また、知識・認識を高めるため情報セキュリティ研修に参加した。(3名)	B		無				
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	B	防災センターの直営化により、財団職員としての意識が日々強くなっている。職場の配線点検や従来は故障箇所など報告のみであったが直営による修繕も積極的に取り組むようになった。 1月には防災講話を実施(9名)、2月には多摩公文協開館による危機管理セミナー(7名)に参加するなど危機管理等の知識・認識を高めた。	B		無				
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	施設の予約にあたっては公開抽選会を実施し、公平性を保持している。	B		無				
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B	第三者委託による業務の水準については、現場や報告書で作業確認をするなど適正であると判断をしている。今後も効果的な施設管理への取り組みを充実している。 第2駐車場の民地隣接の壁の件については、学園都市文化課とともに調整をし、市の直営により壁の取り壊しを、芸術文化会館でフェンス設置をおこなった。	B		無				
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	「環境マネジメントシステムハンドブック」に基づき、ゴミの分別や環境への配慮について職員に意識を以って行動するように指示をしている。 特に震災以降の節電が引き続き実施されており、全職員一丸となり目標達成に向けた取り組みを進めている。 また、お客様についてもゴミ減量等の取り組みについて説明、ゴミの持ち帰りをいただくなど館をあげて取り組んでいる。	B		無				
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	コストの削減については、複数社の見積もり合わせによる適正な手続きにより安価な契約を結ぶことができたと判断している。また、光熱水費においては、昨年度10~11月にLED電球に交換したことによる使用量の削減のほか、全市を挙げて取り組む電気量15%削減に積極的に取り組んでいる。 削減実績(前年度同月比) 12月7.4% 1月7.2% 2月8.9% 3月12.4% 削減率を上回る利用率であったことから達成できなかったものと分析している。 更に震災による利用料金の減収を鑑み、12月より一部予算執行停止など抑制策を講じ、収支のバランスをとった。 その結果、物件費における赤字を抑えることができたと理解している。	A	節電への努力として、地下駐車場の利用が少ない時の利用制限をすることで節電対応(60kw/h)については評価できる。	無				

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

3月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	12~3月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか、	月例報告書	A	限られた予算を有効に活用し、各諸室の不良箇所の改修に努めた。特に利用者の要望や直接影響が大きいと思われる部分を優先順位を決め対応を図るようにしている。 演習向上によるお客様へのサービス向上のため、舞台監督研修(1名)、舞台総合研修(1名)参加した。 12月にクリスマスツリーを年末年始には、手作り門松および飾り凧を飾り付け、季節感を出した。	A	利用者からの改修などの要望に対し、適切な対応をした結果、好評価を得られている。今後も限られた予算ではあるが、優先順位を決めて可能な限り対応をしていただきたい。	無				
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み	報告書	B	出演者を募り無料で実施しているロビーコンサートについては、毎週土曜日に欠くことなく回を実施した。今後も毎週土曜日に毎回開催し、来場者に幅広いジャンルの音楽の提供に努めていくこととする。 特に共催・支援事業では、施設利用の向上とともに集客にも寄与するものと考え、 また、当館関連事業は以下のとおりであった。 1月「米村でんじろうサイエンスショー」(自主) 「泥かぶら 誕生60周年記念 新制作座 新春公演」(共催) 「磯野正明チェロリサイタル」(共催) 2月「八王子市夢美術館 加藤久仁生展」関連企画 「栗コーダカルテットコンサート」(自主) 3月「三遊亭円楽・たい平二人会」(自主) 「地球のステージ」(共催) ポスター・チラシの掲出やホームページや催物案内による催事等情報公開を行った。	B		無				
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	ホームページを活用したPR活動を図っている。さらに見やすいIHPを目指し改善を進める。	B		無				

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B		
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	B		
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B		
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B		
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B		
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	今回実施した地下駐車場の利用制限ような節電対策などの取り組みを、今後も実施していただきたい。	

23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 芸術文化会館

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか、	月例報告書	A	修繕などが限られた予算の中で適切に行われている。今後も利用者立場に立った対応をすること。	
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み	報告書	B		
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・バブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B		